

SYOHEI ニュース 令和7年4月号

新医療センター整備の概要

奥州市が整備を進めている新医療センターは、医療のみならず、子育て支援や健康づくり等に関する機能を兼ね備えた複合型の施設です。

現在、今月6月の基本計画策定に向け作業を進めています。今回は、同センターのポイントを中心にお知らせします。

1 整備の基本理念

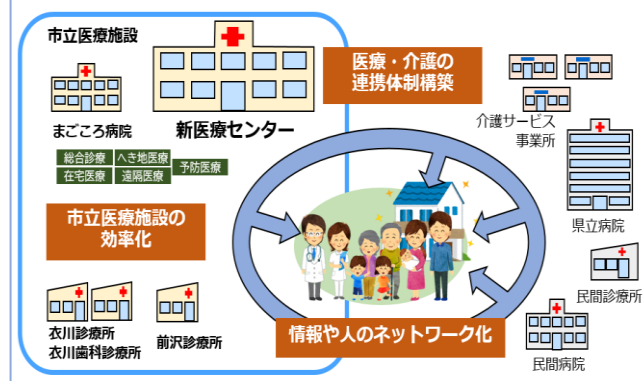
いのちと健康を守り支える
「地域の医療コミュニケーション拠点」
をつくります

※ 単に治療するだけではなく、予防や健康づくりなど、地域全体の健康を支える拠点施設づくりを目指します。

2 新医療センターのポイント

1. 地域包括ケアシステムの充実を図ります

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるように



2. 総合診療の視点を軸とする新たな医療拠点とします

高齢者が抱えるさまざまな症状や不安にトータルで対応



病気だけではなく
予防や健康まで

- ・幅広く診る
- ・多角的に診る
- ・家族や生活背景まで診る
- ・地域全体を診る

3. 回復期を重視した多機能型の医療を提供します

◆多機能型の医療とは

- ・総合診療の視点で診る。初期救急や亜急性期から回復期・慢性期、在宅医療まで対応する。複数の機能による切れ目のない医療を提供する。

4. 医療・保健・福祉が連携した市民サービスを提供します

◆母子・子育て支援サービスの提供

- ・産前産後ケア、子育て相談、病後児保育等

◆健康寿命を延ばすためのサービスの提供

- ・高齢者の虚弱予防、健康づくり、口腔ケア等

3 整備の規模

＜病院施設＞※稼働病床スペース

総合水沢病院との比較

- 開院当初（S58） 391 床
- 現在（H30以降） 95 床

- 新医療センター 80 床
- 建物面積は約半分に縮小

効率的で災害にも強い拠点を整備



4 整備スケジュール

令和12年度開所（共用開始）を見込んでいます。

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。
令和7年3月27日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町 3-1 TEL0197-25-3833
市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。 第60号

水沢競馬場桜並木

水沢姉妹町阿久戸

奥州遺産No.67



1 散策路はまるで桜のトンネルのよう。競馬ファンだけでなく、家族連れやアマチュアカメラマンなど市内外から多くの人が訪れる(平成 27 年 4 月 19 日撮影)



南東には東稲山(写真奥)、北東には種山なども見え、奥州の春の情景を味わうことができる

毎年 4 月、水沢競馬場でシーズンの幕が上がる岩手競馬。その春の風物詩となっているのが、水沢競馬場メインスタンドの向こう正面に広がる桜並木だ。

昭和 63 年「北上川堤防のそばに広がる競馬場の中に、市の新名所を作りたい」と願う競馬場の職員たちが発案し、牧草地だった向こう正面の走路外側約 800 メートルの間にソメイヨシノの苗木 150 本を植樹。桜は順調に育ち、職員たちが思い描いた「雄大な北上川の流れと桜並木を背景に疾走する情景」は、来場者はもとより、競馬中継を通じて全国の競馬ファンの目を楽しませるまでになった。

平成 15 年に散策路が整備されてからは、桜の開花に合わせて一般開放され、ことしも 4 月 16 日、17 日に実施される予定だ。

春の息吹とともに膨らみを増す桜の蕾は、空の青と草の緑とのコントラストでいっそう彩りを増し咲き誇る。(令和 7 年の開花予想は 4 月上旬)

